

おおがわら

議会だより



第160号

令和3年8月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



7月7日・8日
自然体験活動
(金ヶ瀬小学校)

新しい議会構成	②③
議案審議	④⑤
全員協議会	⑥
町政への提言	⑦
その後どうなったあの提言	⑧⑨
町民の声	⑩⑪

新しい議会構成



議長
岡崎 隆(4期目)

令和3年5月6日の初議会におきまして第26代大河原町議会議長に就任いたしました岡崎隆でございます。身に余る光栄と感激いたしますとともに責任の重さを痛感しているところであります。議会と執行部との真摯な議論により町政の諸課題に有効な施策を推進することと併せて、「執行部から一歩引いても二歩引くな」の言葉通り、より緊張感の高い議会を目指してリーダーシップを発揮する所存です。町民の皆さまの議会へのより一層のご理解を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



副議長
大沼 忠弘(3期目)

今般、副議長に就くこととなりました。議会基本条例、議会政治倫理条例の下、現状に満足することなく、より一層の向上を求め、議会のあるべき姿を模索してまいります。町民の声、意見に耳を傾け、現場に足を運ぶこと、執行部と協議を重ねること、こうしたあたりまえの作業を、これまで以上に行い、議会全体として成果という形を作っていくことを模索してまいります。よりよい形で次の世代へ引き継いで行くことが現議会の務めだと受け止めており、お願い申し上げます。

改選後5月6日・17日に初議会が開催され、全議員が参集し、議会内選挙、選任において記載の所属委員会などが決まりました。任期の4年間、町民の代表として努めてまいります。



佐藤 暁史(1期目)
◎文教厚生常任委員会
◎議会広報常任委員会

子供達は宝。高齢者は財産。誰もが暮らしやすい町を目指し「明日へトライ」します。



中村 淳(1期目)
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

目配り気配り心配りができる議員として、町のポテンシャルを充分に引き出していきます。



大沼 常次(1期目)
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

「木を見て森を見ず」ではなく森は一本の木々で成り立っていることを信条にしたい。



高橋 豊(2期目)
◎議会運営委員会
◎文教厚生常任委員会
◎議会広報常任委員会

「GAWALOVE」大河原を愛する心で大河原を創る。皆様の声を町政に届けます。



佐久間 克明(3期目)
◎議会運営委員会
◎文教厚生常任委員会
◎議会広報常任委員会

44歳、3期目も働き盛り、責任世代らしく謙虚にそして大胆に挑戦し続けます。



須藤 慎(3期目)
◎議会運営委員会
◎文教厚生常任委員会
◎議会広報常任委員会

「人の優しさと温かみ」を改めて感じた4年間。「誰もがより住みやすい町」を目指します。



高橋 芳男(3期目)
◎議会運営委員会
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

走ります！みんな「大河原町」のために！希望が、ゆきわたる町へ



丸山 勝利(4期目)
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

町民の安全安心な暮らし、福祉向上の町と、町民の身近な議員として活動します。



佐藤 貴久(5期目)
◎議会運営委員会
◎文教厚生常任委員会
◎議会広報常任委員会

誰がやるのか。人に優しい、人だけではなくペットにも優しい小さな福祉を目指します。



山崎 剛(5期目)
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

経験と、しつかつとした行動力。ブレない信念。培った実行力で町政に安心感を。



万波 孝子(9期目)
◎文教厚生常任委員会
◎議会広報常任委員会

困っている人に優しい政治を。どこにでも出向きます。いつでも声をかけてください。



秋山 昇(9期目)
◎議会運営委員会
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

あなたの声を町政に地域医療体制と町民の幸せの為に、是非々々の精神で汗を流します。



佐藤 巖(10期目)
◎総務産業常任委員会
◎議会広報常任委員会

長年のご支援のご厚情に「恩返し」の心を忘れず議会を通し、政策提言を行って参ります。

委員会所管事項

▶議会運営委員会

議会運営、議会の規則・条例等に関する事項。議長の諮問に関する事項。

▶総務産業常任委員会

総務課、企画財政課、税務課、会計課、農政課、商工観光課、地域整備課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会に関する事項。

▶文教厚生常任委員会

町民生活課、福祉課、健康推進課、子ども家庭課、出張所、教育委員会に関する事項。

▶議会広報常任委員会

議会だよりの企画・編集・発行。その他情報発信、議会広報活動全般。

▶議会広聴常任委員会

議会報告会に関する事項。その他町民との意見交換、情報交換。

一部事務組合等選出議員
仙南地域広域行政事務組合議会議員
岡崎 隆 佐久間 克明
みやぎ県南中核病院企業団議会議員
岡崎 隆 秋山 昇 須藤 慎
宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員
万波 孝子
議会選出監査委員
佐藤 貴久

◎委員長
◎副委員長

6月会議

主に新型コロナウイルス対策関連

報告2件

議案7件

議員発議1件

今回の議案では、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による減税に関する条例の一部改正や、新型コロナウイルス対策に関する事業の繰越明許費繰越計算書の報告が主に行われ、活発に議論が交わされた。

一般会計補正予算

歳入歳出にそれぞれ1億7436万3699円追加し、歳入歳出の総額98億2214万5千円とした。

ふるさと寄附金関連

1555万6千円

新型コロナウイルス感染症対策費

280万円

公共施設消毒業務委託費として4回分を追加し備える。

新型コロナウイルス感染症拡大影響中小企業者支援給付金(第2期)

4000万円

国庫の給付金・協力を金を受けていない町内

中小事業者400件を想定している。令和3年のうち任意の1か月の事業収入が前年または前々年の同月比で15%以上減収がある場合、1事業者あたり一律10万円を給付する。

子育て世帯生活支援特別給付金

4000万円

対象児童1人につき5万円を給付する。約800人を想定。(いずれも全会一致で可決)

公園整備費

185万円

スポーツ自転車MTB(マウンテンバイク)コース整地等工事や、看板設置に係るもの。

また、白石川右岸河川敷等整備事業費指定寄付として目標500万円のクラウドファンディングを行うための業務委託料。



プロによるデザインで新たな交流スポットを目指す

特別会計補正

介護保険特別会計

174万4千円

システム改修委託料として。

(全会一致で可決)

議員発議

大河原町議会会議規則の一部改正

近年課題となつている地方議員のなり手不足解消に向け、女性や若者をはじめとした住民が活躍できる環境の整備として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たつての諸要因に配慮するため欠席事由の具体化及び母性保護の観点から出産に係る産前産後の欠席期間を規定する。また、請願者の利便性を図るため押印義務の見直しを行う。

(全会一致で可決)

報告

繰越明許費繰越計算書の報告

一般会計9事業で令和3年度へ繰越額

4億7550万647円

公共下水道事業会計で雨水整備事業建設負担金(寛沼5号調整池)について令和3年度へ繰越額

2億1932万5千円

※繰越明許費は、歳出予算の一部で、その性質上又は予算成立後の事由により、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについて予算で定めることにより翌年度に繰り越せる。

条例改正

固定資産税評価審査委員会条例の一部改正

押印規定の廃止を行うために条文を変更。

地域経済牽引事業を促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正

手数料徴収条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による国民健康保険税の減免に関する条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少したこと等による介護保険料の減免に関する条例の一部改正

(いずれも全会一致で可決)

5月臨時会議

専決処分

一般会計補正

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金

1億5500万円

4月5日から5月6日の31日間、町内飲食店に対し午後9時までの営業時間短縮要請を行った。県が市町村に補助金を交付し町が支給。1日4万円×31日間分125件見込み。

新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金(5月7日～11日まで延長分)

1500万円

災害復旧費(公共施設及び道路)

2535万円

大河原町町税条例及び町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例

同意

大河原町監査委員の選任

町長より提案のあった、佐藤貴久議員への監査委員の選任について、本人を除く14人の表決の結果、賛成7票、反対6票で同意。

選挙・選任

議長選挙 ◆ 副議長選挙 ◆ 常任委員会の選任

議会運営委員会の選任 ◆ 仙南地域広域行政事務組合議会の議員の選挙

宮城県南中核病院企業団議会の議員の選挙(2名)

後期高齢者医療広域連合協議会議員の選挙(1名)

(結果及び関連2・3ページ記載)

政務活動費

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5000円を会派に交付しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査研究活動を自粛したため、政務活動費を全額返還しました。

会派別返還額

スクラムおおがわら

(4名) 24万円

政道会

(2名) 12万円

新政会

(2名) 12万円

蔵会

(2名) 12万円

清清会

(1名) 6万円

日本共産党

(1名) 6万円

公明会

(1名) 6万円

全員協議会

新型コロナウイルスワクチン接種

(健康推進課)

町内の接種状況
①医療従事者

1323人
(中核病院 820人
その他医療機関等 503人)

※消防署、保健所、役場等含む。

②高齢者施設等入所者及び従事者

高齢者 183人

従事者 166人

③個別接種 655人

④集団接種 304人

(6月2日現在)

※①は、宮城県の事業
※④以外は、町外住民登録者も含む。

国からの要請を受け7月までの2回接種を目指す。見込み90%。優先順位関係なく、接種券は、6月中旬に発送済。



子育て世帯生活支援特別給付金

(子ども家庭課)

目的と支給対象の条件が示された。

支給額 対象児童1名につき 5万円

支給時期(予定) 令和3年7月から8月

申請方法、支給方法等詳細については、町の広報おしらせばんの6月15日号及び7月1日号に掲載。

町のホームページその他でも確認可。

新型コロナウイルス感染症拡大影響中小企業支援給付金

(商工観光課)

事業内容について資料を示された。

歳入(県支出金) 3400万円

歳出 4013万円

白石川右岸河川敷等整備事業6月補正

(地域整備課)

令和2年度から4年度事業計画の概要が示された。

令和2年度

●堤防天端舗装 大河原大橋から 580m

※残り部分は、県事業用地買収(Cゾーン)

令和3年度

●Aゾーン整備 MTB・キッズバイク等アクティブバイ

クゾーン及び芝生広場整備

●Bゾーン整備 ドッグラン整備

●Cゾーン整備 トイレ・駐車場等、及びアクセス道路設計

●Bゾーン堤内地施設整備調査検討

令和4年度

●Cゾーン整備 堤内地アクセ道路整備

ガバメントクラウドファンディング等の活用で事業費を確保する。

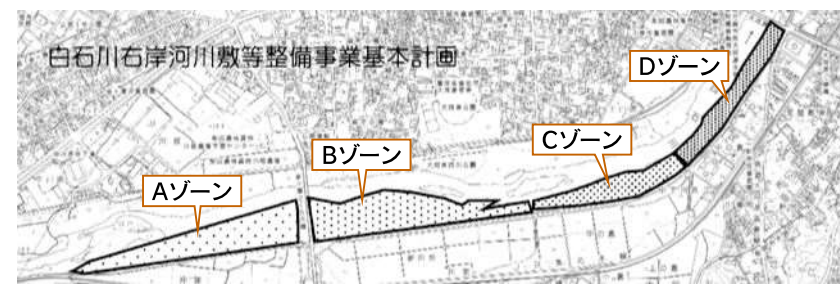
●Bゾーン整備 芝生広場整備 (令和2年度から引き続き) 賑わい交流施設基本設計



その他担当課より説明を受けた。

第6次大河原町長期総合計画実施計画

(企画財政課) ◆国土強靱化計画 (企画財政課)



一般質問

町政への提言Q&A

一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

万波 孝子P⑧

- コロナワクチン接種について
- 学校や公共施設等に生理用品の配備を
- 就学援助制度の更なる周知と活用を

高橋 芳男P⑨

- 行政手続きにおける押印廃止の推進
- 地域衛星通信ネットワークの第3世代システム化
- 不妊治療への保険適用の拡大を

佐藤 暁史P⑩

- 公園整備と防犯等について
- 今回の町議会議員選挙について

大沼 忠弘P⑪

- 公共交通機関とともに取り組む交流、関係人口増加について
- 交通安全対策、高齢者ドライバーケアについて

中村 淳P⑫

- 新型コロナワクチン接種システムについて

須藤 慎P⑬

- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種及び支援策等について
- 学校施設・設備の安全等について

山崎 剛P⑭

- 水防対策・白石川左岸土砂堆積の浚渫の推進を

高橋 豊P⑮

- 幹線道路拡幅について
- 新規案件に対する実現化について

佐藤 貴久P⑯

- 体育施設管理運営委託の課題を問う
- 身体障がい者相談員の復活を望む

大沼 常次P⑰

- 若年層の投票率向上のための施策について
- 小・中学校の更衣室問題について
- 押印廃止作業の進捗度について

内容は、大河原町議会ホームページ内の「インターネット議会配信」で視聴できます。
(<https://ogawara-town.stream.jfit.co.jp/>)

各一般質問の録画は、QRコードからご覧いただけます。



一般質問

ワクチン接種

計画の変更が迫られたが

医師増員で対応



万波 孝子

町長 トイレに必需品として生理用品を配置する考えは。5月25日の町校長会において、学校トイレに配置するよう指示した。女性の利用比率が高い公共施設に準備を進めていく。

町長 直近3ヶ月の所得を基に判定している。教育委員会のホームページにも掲載し、周知を図る。拡充については検討する。

町長 本年度、実施する予定。

所得が激減、就学援助制度の周知と拡充を

万波 文科省は昨年3月、新型コロナウイルス

※県のコールセンター24時間対応
「新型コロナウイルス感染症受診・相談センター」
0221-39819211



順調に進んでいる接種

学校や公共施設のトイレに生理用品の配備を

経済的な理由で生理用品が購入できない「生理の貧困」が社会問題になっている。

万波 学校で生理用品が必要となったとき保健室での対応は。

町長 生理用品を常備し配布している。大中では一日あたり数人の利用がある状況。

万波 学校や役場庁舎等公共施設等の

町長 個別接種との公平性や感染予防等から予定していないが困った声があるなら対応を考えたい。

万波 副反応がでた時はどこに連絡を。

町長 かかりつけ医か県のコールセンターへ。重篤な時は救急搬送の要請をし、中核病院等へ。

万波 クラスタが発生してからでは遅い。キャンセル分キヤンセル分は高齢者施設等の従業員、教職員、保育士を優先して接種すべきではないか。

町長 当日キャンセルとなることからバンク登録とした。

万波 集団接種会場までデマンドタクシーやタクシー補助を求める声があるが応えていくべきでないか。

町長 医師派遣を依頼したの

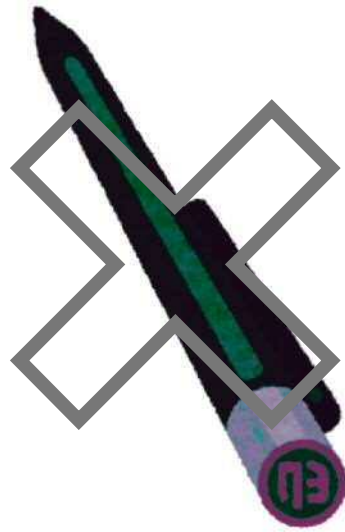
万波 菅首相の突然の高齢者ワクチン7月未完了を受け、計画変更の内容を町民に示すべきでないか。

町長 予約枠等の拡充、医療従事者の確保を行った。接種時期8月以降の方には職員が電話で変更案内をした。

万波 集団接種における医療従事者は十分確保されているか。

町長 町医師団会に加えて中核病院に医師派遣を依頼したの

方向性を固める



行政手続きのデジタル化への第1歩

町でも、押印廃止の手続きの早期推進を検討すべきだと思うがどうか。

町長 本町の推進は、一部進めておりますが、町の条例等で根拠規定がないものや、改正見直しができるものなど、全庁的な行政手続きについて年度内見直しの方向性を固めていきたい。

地域衛星通信の第3世代化

高橋 地域衛星通信ネットワークは、大規模災害により地上系の通信網が途絶した場合でも消防庁と被災

場合でも消防庁と被災

自治体との連絡ができ、地域衛星通信ネットワークの第3世代システムは、整備費大幅な低減や降雨耐性の向上が図られ、市町村局の復活が期待、本町でもこのシステムの導入を検討するべきだと思うが、どうか。

町長 衛星通信を用いた非常通信手段の確保は極めて重要だと考えており、宮城県の動向を注視し、一体的な整備に向け協議検討を進めて参りたいと考えております。

町長 衛生通信を用いた非常通信手段の確保は極めて重要だと考えており、宮城県の動向を注視し、一体的な整備に向け協議検討を進めて参りたいと考えております。

町長 令和3年1月以降に終了した治療分は所得制限を撤廃の対応、令和4年度当初から保険適用の実施を予定しており、国や県の方向性を注視し、制度の拡充について検討したい。

不妊治療への保険適用拡大

高橋 2018年には体外受精で生まれた子どもは16人に1人に及びましたが、保険の適用は不妊原因調査など一部に限られています。保険適用外の体外受精や顕微授精は、

一回当たり数十万の費用がかかり、過度な経済負担となる。本町の不妊治療の保険適用拡大を進めるべきと思うがどうか。

町長 本町の助成制度につきましましては、令和3年1月以降に終了した治療分は所得制限を撤廃の対応、令和4年度当初から保険適用の実施を予定しており、国や県の方向性を注視し、制度の拡充について検討したい。

町長 令和3年1月以降に終了した治療分は所得制限を撤廃の対応、令和4年度当初から保険適用の実施を予定しており、国や県の方向性を注視し、制度の拡充について検討したい。

早期推進を

押印の廃止

高橋 河野太郎行政大臣は、「99・247%の手続きで押印を廃止できる。」と明らかにし、確定申告を始め押印廃止が進められている。デジタル庁は

本年9月の創設を目指しており、押印の廃止については2021年に税制改正で検討し、年内にまとめる与党税制改正大綱に反映させるとのことだった。本



高橋 芳男



一般質問

公園整備

白石川右岸に遊具を



佐藤 暁史

意見を聞き決定する

新を行っている。

佐藤 白石川右岸の整備だが、子どもが利用できる施設が少ない。

町長 子どもからお年寄りまで親しめる空間の創出を目指す。

佐藤 高齢者にも憩いの場になるよう、ボールなどを使わず、子どもが安全に遊べる「ふわふわドーム」を設置してはどうか。

町長 常設型の施設は河川敷に作れない。

い。

佐藤 右岸の賑わい施設に遊具は設置できないのか。

地域整備課長 「ふわふわドーム」を含め、町民の意見をメールや電話で聞き、検討委員会決定する。

佐藤 公園のトイレは多目的トイレにするべき。

町長 トイレの更新をする場合、多目的トイレの整備を図る。

佐藤 不審者情報が多い場所、死角が多い公園に防犯カメラが必要。

町長 死角の多い公園も含め、大河原警察署と協議する。

佐藤 新南に不審者情報は通学路もあり、女性、高齢者の利用も多い。監視ではなく、防犯目的でカメラを設置するべき。

総務課長 その提案を取り入れながら協議

を進める。

今回の町議会議員選挙について

佐藤 「歩いて行ける投票所」の数が少ない。

選挙管理委員長 投票所が不足している状況ではない。

佐藤 新田町、東桜町から投票所が遠い。

総務課長 新田町からの要望がある。投票

区の再編を協議する。

佐藤 新しくなる中学校の体育館は使えないのか。

総務課長 中学校の体育館も視野に入れて投票区の再編を行っていく。

佐藤 期日前投票所の場所を白石川を境に東西に一箇所ずつ必要。

選挙管理委員長 現在の一箇所でも十分対応が可能。



安全に遊べる遊具を

対応は難しい



活路を見出し利用増を

町長 以前JRに対し、桜にちなんだ駅メロの問い合わせをしたことがある。全国的に認知され、ご当地とも密接に関連していることが必要、設備が整っていないことなどから対応できない。

交通安全対策、高齢者ドライバーケア

大沼 通学時、駅広場前の横断歩道の配置はできないか。

町長 配置に向け、関係機関・団体との協議を進める。

大沼 横断歩道で一時停止しない車輛に、指導改善をすべき。

町長 県警本部が毎月10日に設定している「横断歩道安全対策強化日」に合わせ、メール配信サービスによる啓発を行っている。また、街頭啓発活動を予定している。

大沼 歩車分離式信号について町民から寄せられている声は、設置表示の明確化などの要望があった。

大沼 歩車分離式信号の事故を未然に防ぐために、仕組みの理解を広げる方策が必要では。

町長 町広報誌やメール配信等で実施していく。

大沼 認知症などの症状が見られる場合はすべきではないが、高齢者でも通院や日常の買い物など車は欠かせない実情を直視すべき。

町長 自家用車が日常生活において重要なツールになってい

ることは認識。安全運転を支える対策としては、限定条件付免許制度の創設や安全運転サポートカーの普及を期待したい。

大沼 高齢でも認知能力に問題がなければトレーニングをすることで運転能力が維持される研究結果もある。トレーニングを積極的に勧めることも、高齢者ドライバーの生活の質を維持しつつ、高齢者寿命の更なる延伸につながるのではないかと。

町長 運転講習会等の実施により、運転能力の向上を図りたい。

※1 輪行
公共交通機関を使用して自転車運ぶこと
※2 駅メロ
列車が発車する際に流れる「ブザー」等の電子音に代わって流れるメロデーのこと

※1 路線バスで輪行を

公共交通

大沼 バス運行対策補助金が増えている現状認識、今後の予測は。

町長 利用者の減少傾向にあったところに、コロナ禍の影響



大沼 忠弘

一般質問

コロナワクチン接種

場所日時指定に改善を



中村 淳

今後、検討していく

各自自治体において、新型コロナウイルスワクチンの接種予約システムの不具合（電話が繋がりにくい等）により、連日マスコミを賑わせている。

町長 本町においても例外ではなく、町民の声は、「町の定期健康診断同様、地区毎に期日を決めて割り振って欲しかった。」7回かけ直して、やっとつながった。結果、7月の接種予約

中村 今からでも、改善が必要ではないか。

町長 本町においても予約開始直後は、電話が集中しつながら、現在の順調に予約が取れている。

をして、予約を廃止している。今後、64歳以下の接種の段階で予約廃止を導入できないか。

町長 現状では、予約する人に合わせてワクチンの準備するのは難しい。ただし、これらの接種状況が日々変化していく中で、いろいろ対応していかなければならないと考えている。

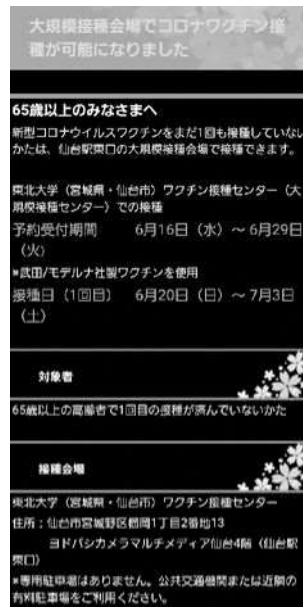


スムーズな接種を

また、自力で予約から接種の手順をこなすことが困難で、接種から取り残される可能性があると思う。取り残されることのないように、掘り起こしを行い、接種会場までの交通手段のない人などは、送迎するなどの検討は必要ないか。

集団接種は、土日に開催しており、日頃、介護サービスなどを受けている方には、家族または、介護サービス事業者のサポートによる対応が可能と考えている。

今後スマホ予約も可能に できるよう検討する



大規模接種について（町ホームページ）

須藤 大河原町（以下、本町）のワクチン接種（以下、接種）数は、

町長 医療従事者1323人（町外住民登録者含む）。高齢者施設入所者及び従事者390人。個別接種2400人。集団接種

2400人。〔6月7日現在〕

町長 7月末までの65歳以上の接種完了要請の現状と今後は、本町では7月末までの2回接種完了を目指す。当初の計画を見直し、予約枠及び接種スケジュール

の拡充、医療従事者の確保を行った。大河原町医師団、みやぎ県南中核病院のご協力をいただきながら接種業務を進めていく。

須藤 仙台での大規模接種について、本日（6月8日）の河北新報朝刊に「6月13日から仙台市以外の17市町の高齢者にも順次開始する」、「各市町が日程や手続きの詳細を発表し、事前予約を受け付ける」との掲載があった。本町の状況と今後は、

現在、6月20日の週末から利用できるよう県と調整を進めている。

現在、6月20日の週末から利用できるよう県と調整を進めている。

ワクチン接種



須藤 慎



健康推進課長 市町村で予約をとり、県に報告することになる。

健康推進課長 今後コールセンターだけでなく、ウェブ予約もできるような体制を検討していきたい。

健康推進課長 今後コールセンターだけでなく、ウェブ予約もできるような体制を検討していきたい。

健康推進課長 今後コールセンターだけでなく、ウェブ予約もできるような体制を検討していきたい。

一般質問

白石川左岸

※1 国に対し浚渫の要求を



山崎 剛

本町からは難しい

山崎 防災、減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策への要望、活用する考えはあるか。

町長 白石川右岸河川敷等整備事業は、

町長 本町においても、昨年度策定した「大河原町国土強靱化地域計画」に基づき、今後、活用事業の協議を進めていく必要がある。

山崎 白石川右岸河川敷等整備事業における浸水被害の想定をしているか。

町長 白石川右岸河川敷等整備事業は、県の河川整備事業により創出された空間を町が有効利用する趣旨のコラボ事業である。県が造成する高水敷の高さは、河川の計画断面の高さとなることから、台風などの増水時には水位が上昇し被害のリスクが考えられる。この事業では、県大河原土木事務所と協議を行い、白石川右岸を一体

として活用できる包括占用を予定しており、台風被害など自然災害時の復旧方法などについても併せて協議していく。

山崎 白石川左岸の土砂堆積の浚渫することによって、川の流れが変わり、増水してもかなりの氾濫が抑止できると思うが見解は。

町長 県では、昨年度に白石川の土砂堆積による阻害比率調査を行い、調査の結果、大河原大橋上流付近から末広橋下流付近の左岸の箇所は、河川断面の流下能力阻害率は、県の浚渫の基準である20%以上に達しておらず浚渫はすぐ行えませんが、今後定期的に調査をして白石川全体を勘案した検討をしていく回答をいただいる。また、金ヶ瀬さくら大橋より上流の左岸にお



河川の氾濫につながりかねない

いては今後、流下能力を阻害してくる状況があるため、本年度中に雑木の伐採を行うと県より連絡をいただいている。

※1 浚渫

洪水などを防ぐ目的で河川の水底を掘削すること。

※2 流下能力阻害率

川が流すことができる水の量に対し、土砂などが堆積することによって川の流れがどれほど妨げられているかの割合。

末広橋拡幅は

構造上難しい



前に進まない末広橋問題

大河原町は仙南地域の中心部に位置しており、国道4号線の他、主要幹線道路が多く集まっている。県道は改良工事が進んでいる箇

所もあるがまだまだ狭い部分があり、危険な箇所が数多く存在する。巨理大河原川崎線の末広橋部分、白石柴田線の上大谷地区は現在車

地域整備課長 末広橋は河川構造基準を満たしていないので架け替えが必要。構造の問題で拡幅工事は難しい。道路取り付け部分の見通しが悪

高橋 今回の選挙があり、さまざまな形で声を聞くことができた。今まで一般質問で取り上げてきた内容で実現してほしいとの声があったものに対して再度質問する。

町長 年間を通して企業PRが可能で効果が見込める施設を選定できている。白石川右岸河川敷整備の計画の中でスポーツコースや広場等、ネーミングライツの実施に向け検討する。

地域整備課長 本年度、道路待避所を設ける改良工事を実施する。全体的な2車線化の予定はない。

町長 ネーミングライツ事業（公共施設等に企業名や商品名を付けること）は権利。収益は施設の良好な維持管理を行う経費等に活用できる。既に条例があり、対象施設が決まれば募集できるのではないかと考える。今後の実現化は、

高橋 白石柴田線の道路改良について、これまでの経緯、今後の見通しは。

町長 状況調査や費用対効果を含め、実施に向けて検討している。

高橋 本年度、道路待避所を設ける改良工事を実施する。全体的な2車線化の予定はない。

町長 状況調査や費用対効果を含め、実施に向けて検討している。

新規案件に対する実現化について

今回選挙があり、さまざまな形で声を聞くことができた。今まで一般質問で取り上げてきた内容で実現してほしいとの声があったものに対して再度質問する。

町長 年間を通して企業PRが可能で効果が見込める施設を選定できている。白石川右岸河川敷整備の計画の中でスポーツコースや広場等、ネーミングライツの実施に向け検討する。

道路整備



高橋 豊



一般質問

職員給与 規程

体育施設管理運営を問う



佐藤 貴久

再調査する

身体障がい者相談員の復活を望む

佐藤 身体障がい者相談員は、相談支援事業として、白石陽光園に委託している。令和2年度の相談支援事業の利用者実績は、**福祉課長** 利用者実人数は、31人となっている。身体障がい者の方は8人の利用。

佐藤 相談員の活用を推進するための養成研修会は本町で実施していたか。

福祉課長 町にはノウハウがないため実施

佐藤 仙南2市7町において、相談員を設置している自治体はあるのか。

福祉課長 白石市、角田市、蔵王町、川崎町の2市2町。

佐藤 障がい者の痛みを共有できる、相互信頼関係にある相談員の復活を強く求める。

福祉課長 実績上、相談員の設置は考えていない。

佐藤 委託料は、自主事業を加えた総収入の何%に及ぶのか。

教育長 約98%。事業運営はほぼ税金で賄われている。

佐藤 2つの職員給与規程が存在することは、教育長はご存じか。

教育長 存じ上げている。2つの給与規程があるということは、どちらかが「正

ということではないか。私のほうからはお答えできない。

教育長 1つの給与規程は、私が、平成20年以降採用の職員から届けられたもの（以下Bとする）。執行部が主張する給与規程（以下Aとする）が正しい規定なら、その方は、当然Aを所持していることにならないか。当然そうなると思う。

佐藤 さらに、平成19年度のオリジナルメンバーの方もBのみを所持している。執行部の主張と真逆の事実ではないか。

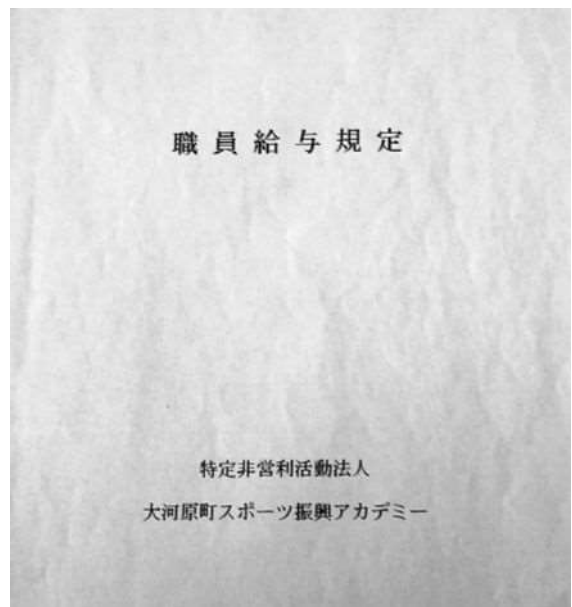
教育長 NPOに確認する。

佐藤 NPOの委託料は税金。再調査をすべき。それ以外の選択肢はありません。

教育長 再調査をする。

佐藤 身体障がい者相談員が、実績がないという理由で、令和2年度より廃止となった。住民サービスの低下には及んでいないか。

福祉課長 実績がないため、サービスの低下には及んでいないと認識している。



届けられた「B」の給与規程

選挙は民主主義の根幹

若年層の低投票率に危惧

若年層の 低投票率問題

4月に行われた町議選の投票率は51%だった。2000年に行われた町長・町議補選では74%もの高投票率だったが、以来、ひたすら下降曲線を描き続け



未来の有権者のために今できることは

ている。特に、20代、30代の著しい選挙離れは本町にとどまらず全国的な社会問題となっている。これまでの選挙の啓発活動だけでは効果は出ておらず、選

挙割」等の投票者に特典を与える施策が必要ではないか。

大沼 若年層の低投票率は町の未来にどう影響するか。

選挙管理委員長 今後、さらに民意を反映した平等な選挙が危ぶまれ、投票率の向上を図っていく。

大沼 若年層へのアピールとして高校生などにも投票所の立会人を委嘱してもいいのでは。

選挙管理委員長 投票率の向上であれば、高校生などの選任について十分な協議を行う。

大沼 多くの自治体で行われている「選挙割」などの投票した

人への特典制度は検討してもいい時期ではないか。

選挙管理委員長 「投票割」は多くの自治体で行われていることは承知しているが、懸念もある。「投票済証」の発行は要望があれば発行できるが、選管が「選挙割」を主導していくことは難しい。

男子中学生のスボンの中に運動着を履いている現況はなぜ起こる

大沼 教育長はこのよう現実を承知しているか。

教育長 中学生が制服の下にTシャツやハーフパンツを履いていることは承知している。

大沼 国は男女同室の着替えは「極めて非常識」であり、全国に改善する通知を出している。

教育長 中学校では制服の下に体育着を着用しており、教室内

で着替えをしている。子どもたちや保護者からのクレームはないので、学校の指導を尊重していく。

押印廃止作業の進捗状況は

大沼 町が条例・規則などで押印を定めている手続き文書は何件あるか。

町長 押印廃止の検討を行う条例、規則、要綱の数は260件ほどあるが、その他の文書については、全庁的な洗い出しが必要である。

大沼 押印問題に係る検討作業の進捗状況と今後のスケジュールについては。

町長 これから押印廃止に関し、全庁的に行政手続きの調査を実施し、年度内に見直しの方向性を固めた



＊プロフィール＊

さいとう みか
齋藤 美香 さん（稗田区）
柴田郡川崎町出身
【家族】夫 子ども2人（1女1男）
夫の両親 6人暮らし

アットホームな町

震災後に夫の両親が住む大河原町に移り住みました。最近の趣味は週一回のプール通いです。大河原町に来て感じたことは、アットホームな町だということです。近所の子ども達は元気に挨拶をしてくれ、周辺の住民も気さくに話しかけてくれます。たまに野菜をいただくこともありました。他町から引っ越してくると、ラベンダーの苗を貰えたのも嬉しい心遣いだと思っています。大河原町は都会過ぎず田舎過ぎない。買い物にも困らず、就職もしやすいという印象です。

幼稚園の先生方に感謝

長女、長男の2人もカトリック幼稚園に通っています。私たち



親は、園の行事が無いと園での生活があまり見えてきません。このコロナ禍の中でも、園長先生をはじめ、先生方がコロナウイルスの感染防止対策をしつかりと行い、園の様々な行事をしてくださいました。子ども達がいちいち変わらぬ園生活を

「認定こども園」を増やして

幼稚園・保育園は年齢制限や両親の就労など、子どもを預けるためにはいくつかの条件

があります。しかし「認定こども園」は保護者が働いている・いないに関わらず利用が可能で、預かり時間も4時間から11時間と長く、0歳から就学前まで預けることが可能です。もし預けている期間中に保護者の離職があっても、退園せずに通い続けることができるので、保護者の就労が子どもの育つ環境に与える影響が少なくなります。

また、出産のために仕方なく仕事を辞めたお母さんもいますが、働いていなくても子どもを預けられるので再就職活動に専念することが出来ます。働く意欲があっても機会に恵まれないお母さん達が、再び社会へ進出できるためにも、ぜひ「認定こども園」を増やしてください。

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の過程について調査・追跡しました。

桜保育所へICT導入



解決

提言

保育士の負担軽減と保護者の利便性向上のため、必要な業務をICT化すべき。

議員の提言
（一般質問）
平成31年3月

令和3年
4月より

追跡結果

令和3年4月1日より新設された桜保育所にてICTが導入された。
ICTの活用については、アプリを通して桜保育所への登園、降園の登録、連絡事項の共有などが行えるようになった。

空き家バンク



未解決

提言

空き家活用による定住促進が進められている。少子高齢化のため空き家がふえていくと思われる。空き家活用による定住促進は積極的に取り組む必要がある。

議員の提言
（一般質問）
平成29年 3月
平成29年12月
令和元年12月

令和3年
現在

追跡結果

大河原町には不動産事業者協会が2団体あり、それぞれの不動産事業者が情報発信を盛んに行っている状況。
空き家の契約関係等に専門的な知識が必要とされることもあり、空き家の斡旋等に対する窓口は現状設置していない。

こんな町に住みたい



金ヶ瀬中学校
大野 蓮さん

私は地産地消を積極的に
に行えるようにして
いきたいです。生産者
は消費者のニーズを捉
えることで効率的に生
産を行うことができます
。消費者は新鮮で安
価で安全な農産物安心
して得ることができま
す。

そのために双方のや
り取りが活発にできる
ようにしたいです。生
産者も消費者も交流会
やSNSなどを通じた
お互いの「情報のやり
とり」の活発化が必要
だと思っています。私
は今から「情報のやり
とり」力を身につけら
れるようにしていきたい
と思います。



金ヶ瀬中学校
高橋 祐衣さん

私が望む大河原町は
「医療面で充実した町」
です。老若男女、幅広
い世代の人々が安心し
て医療を受けられるよ
うな環境にしたいです。
例えば夜間診療など
医療を便利に受けられ
る様々な機会をつくっ
ていくことです。

もちろん病院側に負
担をかけてしまっは
いけないので、受診し
たい人・病院双方にメ
リットが出るような医
療体制になるよう見直
していく必要があります。
誰かが元気な町にな
るよう、町全体で向き
合っていきたいです。

新メンバーによる 編集作業

4月の町議会選挙により議会広報常任委員会の
新しい委員6名が選出されました。任期は2年で
す。



議会の様子を町民のみなさまにわかりやすい言
葉で正しい情報を
伝えること。手に
とって読んでいた
だけのよう、委員
一同町民の目線で
地域に開かれた議
会を発信していき
たいと考えます。
紙面づくりに町
民のみなさまの声
を反映させていき
ますので、是非ご
意見等をお聞かせ
ください。

どうぞよろしく
お願いします。
(万波 孝子)

9月議会のお知らせ

招集日 9月1日(水)・再開日 9月7日(火)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

今回の表紙は



今回の表紙は7
月7日・8日に行
われた、「金ヶ瀬
小学校・自然体験
教室」です。初日
のトレッキングに
同行しました。雨
脚が強くなるなか、
子ども達は元気よ
く斜面を登ってい
きます。私も全身
びしょ濡れで、や
つとの思いでつい
てきました。こ
の自然の厳しさが、
忘れられない最高
の思い出になるこ
とでしょう。

(佐藤 暁史)

編集後記

6月議会が終わり、
新たなメンバーで本号
の編集をどうにか校了
することができました。
内容的には、一般質
問がメインとなってい
ますが、10名の議員か
らの一般質問の内容そ
して執行部からの回答
を限られた紙面の中で
まとめ上げなくては
いけないので、大変苦
労しました。あくまでも
要約(ダイジェスト版)
としてとらえてくださ
い。時間に都合ができ
る方は、是非、議場に
足を運んでいただくか、
あるいはインターネット
のライブ中継で会議
の様子を映しています
ので、各議員の生の声
を聴いていただければ
幸いです。

(大沼 常次)

編集発行責任者 岡崎 隆
議長 岡崎 隆
議会広報常任委員
委員長 万波 孝子
副委員長 佐久間 克明
委員 丸山 勝利
大沼 常次
中村 淳
佐藤 暁史